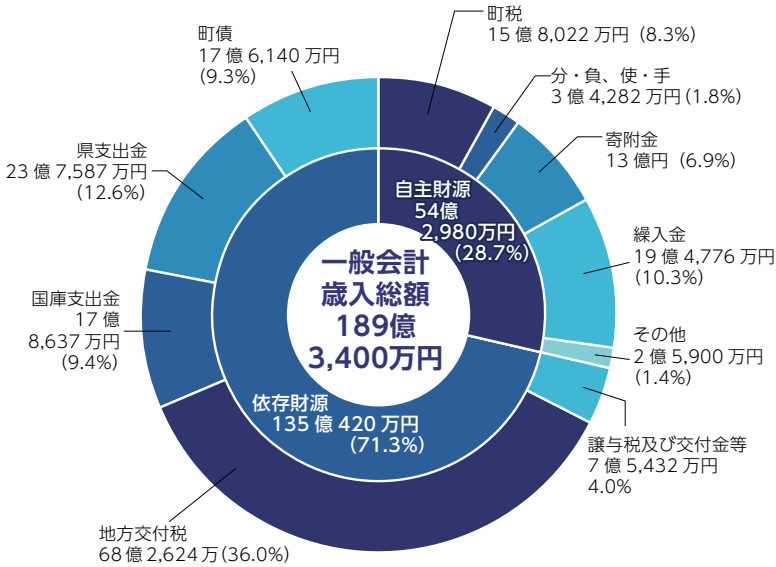


一般会計当初予算の概要

【歳入】

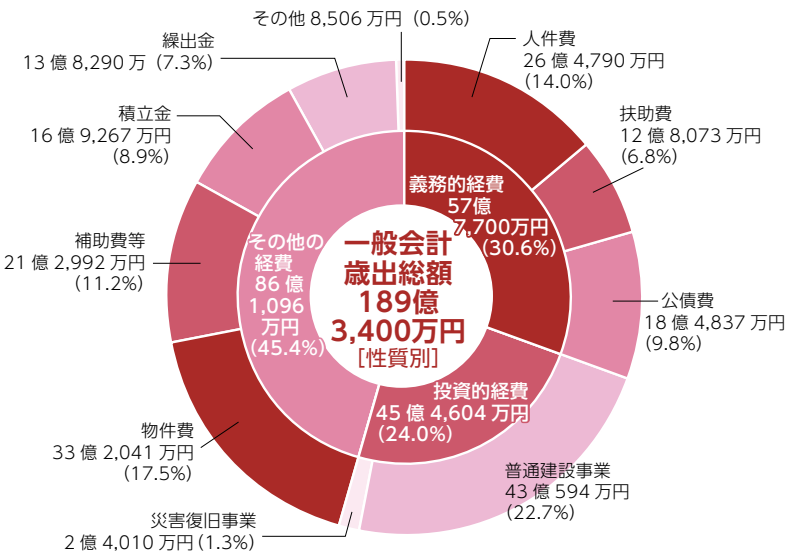
区 分	令和4年度当初	構成比
(1) 自主財源	54 億 2,980 万円	28.7%
町 税	15 億 8,022 万円	8.3%
分・負、使・手 ※	3 億 4,282 万円	1.8%
寄 附 金	13 億 〃 〃	6.9%
繰 入 金	19 億 4,776 万円	10.3%
そ の 他	2 億 5,900 万円	1.4%
(2) 依存財源	135 億 420 万円	71.3%
譲与税及び交付金等	7 億 5,432 万円	4.0%
地 方 交 付 税	68 億 2,624 万円	36.0%
国 庫 支 出 金	17 億 8,637 万円	9.4%
県 支 出 金	23 億 7,587 万円	12.6%
町 債	17 億 6,140 万円	9.3%
合 計 (1) + (2)	189 億 3,400 万円	100.0%

※分・負、使・手=分担金および負担金、使用料および手数料



【歳出】〔性質別〕

区 分	令和4年度当初	構成比
(1) 義務的経費	57 億 7,700 万円	30.6%
人 件 費	26 億 4,790 万円	14.0%
扶 助 費	12 億 8,073 万円	6.8%
公 債 費	18 億 4,837 万円	9.8%
(2) 投資的経費	45 億 4,604 万円	24.0%
普 通 建 設 事 業	43 億 594 万円	22.7%
災 害 復 旧 事 業	2 億 4,010 万円	1.3%
(3) その他の経費	86 億 1,096 万円	45.4%
物 件 費	33 億 2,041 万円	17.5%
補 助 費 等	21 億 2,992 万円	11.2%
積 立 金	16 億 9,267 万円	8.9%
繰 出 金	13 億 8,290 万円	7.3%
そ の 他	8,506 万円	0.5%
合 計 (1)+(2)+(3)	189 億 3,400 万円	100.0%



町民一人あたりの予算額：1,180,350 円 (令和 4 年 3 月 1 日現在：16,041 人)						
目的別 一般会計歳出	議会費 7,428 円 (1 億 1,915 万円)	総務費 284,598 円 (45 億 6,523 万円)	民生費 219,920 円 (35 億 2,774 万円)	衛生費 83,698 円 (13 億 4,260 万円)	農林水産業費 148,174 円 (23 億 7,687 万円)	商工費 35,942 円 (5 億 7,655 万円)
	土木費 127,274 円 (20 億 4,160 万円)	消防費 54,578 円 (8 億 7,548 万円)	教育費 87,600 円 (14 億 519 万円)	災害復旧費 14,968 円 (2 億 4,010 万円)	公債費 115,228 円 (18 億 4,837 万円)	その他 942 円 (1,512 万円)
					労働費 諸支出金 予備費	

■ 一般会計の主要事業

年 度	積立基金（預金）残高	町債（借金）残高
令和4年度見込額	124 億 6,920 万円	190 億 5,006 万円
令和3年度見込額	127 億 2,429 万円	182 億 8,956 万円
令和2年度決算額	119 億 9,852 万円	185 億 7,753 万円

詳細については、町ホームページ「四万十町の財政状況」コーナーで公表しています。

【メモ】町債は、公共施設の建設等の財源として町が借り入れるお金で、いわゆる借金です。しかし、個人の借金とは違って、将来その返済（元利償還金）の一部が、地方交付税として国から交付（算入）されるものが多数あります。

左表の令和2年度決算額では、一般会計の町債残高が 185 億 7,753 万円となっていますが、そのうち地方交付税で交付されるものなどを除き、町が支払う実質の負担額は 41 億 8,388 万円（町債残高の 22.5%相当額）となっています。

【お問い合わせ先】 総務課財政班 ☎22-3111

令和 4 年度 当初予算の概要

一般会計総額 189 億 3,400 万円
〔対前年度当初比▲ 7 億 6,800 万円・▲ 3.9%〕

■ 令和4年度当初予算が可決されました

四万十町の令和4年度当初予算が町議会3月定例会で可決されましたので、概要についてお知らせします。一般会計における予算総額は、普通建設事業費の減少等により、前年度と比較して 7 億 6,800 万円（3. 9%）減少の 189 億 3,400 万円となりました。

また、国民健康保険事業などの10特別会計と水道事業会計を加えた全会計の純計（重複分を差し引いた）予算規模は 253 億 2,036 万円となっています。

■ 予算編成の基本方針

▶第2次総合振興計画の推進

～ まちの将来像「山・川・海 自然が 人が元気です 四万十町」の実現 ～

▶人口減少の克服と地方創生を目指して

～ 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた基本目標のより一層の推進 ～

▶徹底した行財政改革と中・長期的な視点に立った予算編成への取り組み

▶町民参画と行政の透明性の向上

以上のような基本方針のもと、令和4年度は新型コロナウイルス感染症への対応事業や「第2次四万十町総合振興計画」に掲げたまちの将来像の早期実現と「第2期四万十町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を着実に推進するため、国・県の動向等にも十分注視しつつ編成しました。その主な事業は次のとおりです。

■ 一般会計の主要事業

総合戦略に掲げた4つの基本目標	① 地域の特性を生かした雇用を創出する	こうち農業確立総合支援、新規就農者定着促進、地域営農支援、園芸用ハウス整備、畜産競争力強化整備、大規模畜産施設整備、四万十川流域森林環境整備、特用林産生産体制支援、自伐林家等支援、森林経営管理、町有林管理整備、ふるさと支援（ふるさと納税）推進、企業立地等促進、商工業振興助成、地産外商推進、ネット利活用特産品情報発信・販売、農業環境整備、町産材利用促進事業
	② 四万十町への新しい人の流れをつくる	地域おこし協力隊推進、移住定住促進住宅整備、四万十川保全活用、四万十川PR、ホビー館推進、道の駅「四万十大正」再生整備、三島キャンプ場リニューアル整備、イベント助成、観光協会運営育成、四万十川桜マラソン事業
	③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	移住定住促進（住宅支援）、婚活推進、ファミリーサポートセンター運営、安心子育て支援（出産祝金）、私立保育所運営支援、乳幼児・児童医療費助成、不妊治療費助成、妊婦一般健康診査通院費助成、新生児聴覚検査、乳幼児健診、ICT教育推進、地域教育推進、教育研究所・教育支援センター、青少年わんぱく学校、放課後子どもプラン推進事業
	④ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る	地区活動支援等、地域づくり推進、人材育成推進、文化的施設整備、あったかふれあいセンター、24 時間電話健康相談、健康ステーション、生活環境整備、住宅リフォーム支援、定住住宅建設、吉見川浸水対策事業
その他の主要事業	防 災（地 震・津波避難、大規模災害）・安全対策	町道安全対策、農業用燃料タンク対策、農業用ハウス防災対策、商店街施設地震対策推進、橋梁定期点検、橋梁長寿命化修繕、トンネル長寿命化修繕、防災ハザードマップ作製、自主防災育成、興津高台用地造成、津波避難路等維持管理、防災施設整備、2次避難所ガス発電機設置、応急対策活動燃料確保、木造住宅耐震化促進、緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進、ブロック塀等対策推進、土砂災害対策、老朽住宅除却、宅地耐震化推進事業
	そ の 他	地域情報番組制作、配食サービス、新型コロナワクチン接種、強い農業・担い手づくり総合支援、事業者経営支援、雇用労働継続支援、高速道路周辺整備、四万十緑林公園改修、学校施設大規模改修、移動図書館事業